



世界を見たくて旅に出た、映画「チベット チベット」のキム監督の新作「雲南 COLOR FREE」上映としおのみのちのプロデューサーであり日本を代表するインディアンフルート奏者、真砂秀朗のコンサート、そして時空を超えた二人の対談。

旅を起点とする二つの感覚がどんな空間を生むでしょうか。



真砂秀朗 Hideaki Masago www.awa-muse.com/

「自分の中に流れているスピリットに気がついて行くこと。
同調してゆくこと。そしてそれを表現してゆくこと」

独自の音楽表現と共にヴィジュアルアートにおいて創作活動をしている「絵と音」のアーティスト。世界各地のネイティブカルチャーへの旅の体験と印象から、自然と折りあう人々の原点にある感覚を、多くの絵や音の新たなイメージとして生み出し、幅広く様々なメディアに提供している。インディアンフルートやバンブーフルートを中心に作曲、演奏活動をし、スピリチュアルなミュージシャン達との出会いの中で「Chaco Journey」をはじめ7作のアルバムをリリース。また「しおのみのち」シリーズなどをプロデュースしてきた。ヴィジュアルでは水彩画、版画、絵本などの創作や「Earth Celebration」、愛地球博「地球市民村」等のシンボルアートにおいて表現している。著書に詩画集「星の神話さがし」、絵本「レインボーブックス」シリーズなど。旅の延長として谷津田での編作を始めて7年、それは新たな表現を生んでいる。

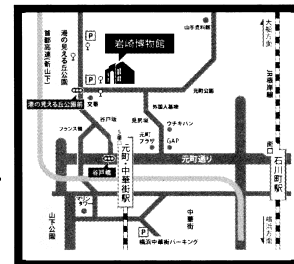
(写真提供：miwaco)

監督：キム・スンヨン

前作「TibetTibet」は山形国際ドキュメンタリー映画祭正式招待、台湾国際ドキュメンタリー映画祭正式招待、オレゴン映画祭観客賞など、世界中で評価される。世界35ヶ国を旅してきた旅人映像作家。



前作「TibetTibet」で個人としてダライ・ラマ14世に10日間の同行取材を敢行し、チベット問題と在日コリアンという自身の民族アイデンティティを見事に表現したキム・スンヨン。今回は中国雲南省の少数民族の民族衣装を撮影しに未だ外国人が訪れることの少ない雲南省の奥地へ。桃源郷と呼ばれる山岳地帯に暮らす少数民族たちに焦点を当て、手作りでも進化し続けるアバンギャルドな民族衣装の世界をカメラに収めた。編集は50時間に及ぶ素材映像を時間軸を無視した感覚的なカットで繋ぎ、ナレーションや字幕など言葉による説明を使わず、民族衣装の素晴らしさを全面に押し出した43分という濃密な時間にとまめ上げた。音楽を担当したYOSHIMIOは映像を見ながら感じたままを即興演奏し、撮影時の素材音と掛け合わせた。ゲストプレイヤーとしてSonic YouthのKim Gordon（ボーカル&ギター）、SAICOBABAのYOSHIDAIKITI（シタール）、V-REDOMSのyo2ro（ドラム）など豪華メンバーを迎え、インドのシタールやインドネシアのガムランなど世界の民族楽器からシンセサイザーまで多種多様な楽器を駆使しニューウェーブでドライバルな音楽に仕上げた。美しく新しくてアバンギャルドな民族衣装の映像と、YOSHIMIOによる物語を語るかのような音楽が融合し、全く新しいファッションミュージックドキュメンタリーロードムービーが完成した。



岩崎博物館

〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町254 TEL 045-623-2111 / FAX 045-623-2257

JR根岸線・石川町駅下車南口(元町口)より徒歩15分 / みなとみらい線・元町・中華街駅下車5番口より徒歩7分

神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅-保土ヶ谷駅東口)「港の見える丘公園前」下車(神奈川中央交通バスのサイトで時刻表チェックができます。)

*当館に一般駐車場は有りません。隣接の民営駐車場等をご利用下さい。